

茂原市地域防災力向上計画

令和6年4月

本計画は、自助・共助の取組を促進し、地域防災力の向上を図るため、千葉県地域防災力充実・強化補助金を活用し、令和5年度から令和7年度の3か年において、自主防災組織の育成、活性化及び避難環境の整備に関する事業を次のとおり実施するものである。

1 自主防災組織の育成、活性化

災害による被害を最小限に止め、被害の拡大を阻止し、生命・財産を守るためには、自助・共助の取組が重要であり、「自分の身は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を持ち、各家庭や地域における防災活動が積極的に実施されるために、各地域において自主防災組織の設立促進と活性化を図る。

また、地域の防災訓練等に参加し、防災知識の普及や地域住民の意識の向上を図るための活動を行う「災害対策コーディネーター」の養成や地域の自主防災組織のリーダー育成に取り組む。

(1) 新規自主防災組織への助成

① 現状及び課題

本市は、自主防災組織支援事業の実施により、新たに設立した団体には、資機材を貸与するなどの育成に努めているが、令和5年度の新規設立組織はなかった。また、既存の自治会を単位とした自主防災組織の設立を促進しているが、236自治会（令和6年4月1日現在）のうち94の自主防災組織が設立されている状況であり、カバー率も66.9%（令和5年4月1日現在）と県の68.9%、国の85.4%（令和5年4月1日現在）と比べ低い値となっている。

② 基本方針

新たな自主防災組織の設立促進のため、既存の自治会等に対し自主防災組織設立に向け気運醸成を図る事業を実施し、また、新たに設立した自主防災組織に対し、活動に必要な資機材を貸与するとともに、資機材の保管場所がない場合に、資機材を保管する倉庫（保管庫）の整備に対し助成を行うことで、自主防災組織の設立を推進する。

③ 目標（令和7年度末まで）

既存自治会を中心に13組織の設立を目指し、自主防災組織のカバー率を向上させることにより、地域防災体制の強化を図る。

④ 具体的な取組

- ア 防災講演会の開催
- イ 自主防災組織資機材等の助成

(2) 自主防災組織の活性化

① 現状及び課題

既存の自主防災組織において、役員の交代や訓練のマンネリ化等により活動が低迷している組織もあり、活性化が課題となっている。また、市が貸与した資機材を有効活用する手段や災害イメージを養う機会等が不足している。

② 基本方針

地域における活動の活性化を図るため、地域のリーダーを育成し、防災知識の普及を図り、新たな地域の訓練として、災害図上訓練（DIG）を推進し、その指導員の養成を図る。

また、地域事情を考慮した防災体制の構築を促進するため、新たな資機材の整備に対して、助成を行い、地域防災力の向上を図る。

※DIG・・・Disaster（災害） Imagination（想像力） Game（ゲーム）の略

③ 目標（令和7年度末まで）

地域の実情にあった新たな資機材の整備や自主防災組織のリーダーの育成及び災害対策コーディネーターを養成することにより、防災意識の向上と継続的な活動による地域防災力の強化を図る。

④ 具体的な取組

- ア 災害図上訓練指導員の養成
- イ 自主防災組織のリーダー育成研修会の実施
- ウ 災害対策コーディネーター養成講座の実施
- エ 自主防災組織資機材等の助成
- オ 自主防災組織の防火・防災活動への助成

2 避難環境の整備

（1）戸別受信機の整備

① 現状及び課題

現在、災害時の情報伝達手段として、防災行政無線屋外子局等を用いて情報発信を行っているが、情報伝達手段のさらなる充実を図るため、水害警戒区域や土砂災害警戒区域を優先して有償貸与を実施している。

また、自主防災会の役員等に戸別受信機を貸与しているが、令和3年度にデジタル化が完了し、アナログ戸別受信機の更新が必要となる。

② 基本方針

難聴地域の市民及びアナログの戸別受信機を持っている関係機関等を優先して貸与を実施する。

③ 目標（令和7年度末まで）

全てのアナログの戸別受信機の更新

④ 具体的な取組

- ア 戸別受信機の有償貸与を広報やウェブサイトにて周知を図る
- イ 毎年100世帯の市民へ戸別受信機の有償貸与
- ウ アナログ戸別受信機のデジタルへの更新